

令和7年度第1回江別市スポーツ推進審議会開催結果

1 開催日時・場所

令和7年8月29日（金）10時30分～11時10分
江別市教育庁舎大会議室

2 出席者

- ・スポーツ推進審議会委員：8名
花井篤子会長、安保美幸副会長、千葉則理委員、金山睦委員、安田敏昭委員、梶野祐樹委員、的場啓委員、五十嵐拓也委員
（欠席：鶴飼裕子委員、竹内由紀子委員、木谷琢睦委員）
- ・教育委員会事務局
佐藤教育部長、新山教育部次長、松井スポーツ課長、天野スポーツ課主幹、茂木スポーツ課主査

3 開催結果

(1) 委嘱状交付

教育部長から各委員に委嘱状を交付。

(2) 開会

委員の過半数の出席を確認し、スポーツ課長が開会を宣言。

(3) あいさつ

教育部長からあいさつ

(4) 会長・副会長の互選

互選の結果、会長は花井委員、副会長は安保委員に決定。

(5) 報告事項（1）令和6年度スポーツ関係事業実施報告について

- ・スポーツ課主査から、資料に基づき報告した。

○事務局（スポーツ課主査）

資料の1ページをお開き願う。

はじめに、教育委員会が行った事業についてご報告する。まず、学校体育施設開放事業だが、社会人体育団体学校開放事業は、学校運営に支障のない範囲で、体育館及

びグラウンドを市民のスポーツ団体の活動場所として提供する事業で、令和6年度は、25小中学校を開放し、利用者数は延べ15万3,111人であった。

次の体育施設開放事業（学校体育館土曜開放）は、10の小学校の体育館及びグラウンドについて、土曜日の午前を地域の児童生徒のスポーツ活動場所として提供するもので、利用者数は延べ3,612人であった。

また、体育施設開放事業（学校プール開放）は、夏休み期間中、15校の小学校プールを開放し、子ども達に利用してもらう事業であり、利用者数は5,831人であった。

次に、スポーツ普及奨励事業の、青少年スポーツ賞顕彰であるが、スポーツ賞は、高校生以下を対象にして、全国大会で3位以上を基準としており、2個人を表彰した。

スポーツ奨励賞は、高校生以下で全道大会1位を基準としており、20個人、14団体を表彰した。

教育委員会賞は、小中学生で全道大会2位又は3位を基準としており、11個人、7団体を表彰した。

次の、スポーツ大会出場奨励金交付は、予選を経て全道大会規模以上の大会に出場する市民に対し、負担の軽減を図る目的で奨励金を支給するもので、国際大会は、1個人と3団体に、全国大会は、61個人と13団体に、全道大会は、60個人と15団体に、それぞれ奨励金を支給した。

次に、スポーツ振興に関する事業であるが、屋外体育施設管理運営事業は、江別第二中学校に特設するスケートリンクの管理運営を江別市スポーツ振興財団に委託したものである。

スポーツ大会等振興補助事業は、江別市スポーツ振興財団が実施するスポーツ大会や健康体力づくり指導相談などの事業に係る補助金で、4,131万7千円を交付している。

次に、体育団体補助金は、江別市スポーツ協会と江別市スポーツ少年団が実施する事業に対する補助金である。

次に、地域スポーツ活動活性化促進事業であるが、学校レクリエーションや自治会などにおいて、スポーツ推進委員の指導の下、軽スポーツを行い、この普及を目的とする事業で、2件、29名を対象に実施した。

2ページをお開き願う。

全国大会等開催補助事業は市内で開催された全日本マスターズホッケー大会、全国高等専門学校水泳競技大会の2つの全国大会に対して、開催地として補助金を交付したものである。

次にトップアスリート交流推進事業は、市民がトップアスリートと交流する機会を提供する事業で、合宿に訪れる団体に対し、空港から宿泊地・練習会場への送迎サービスの提供、道立野幌総合運動公園などの会場使用料の補助等の支援を行ったり、トップアスリートによるスポーツ教室開催に係る支援である。令和6年度は、レバンガ北海道や北

海道イエロースターズなどのプロスポーツ団体と連携し、市内の小中学生を対象にスポーツ教室を開催した。

次に、スポーツ施設改修整備事業の体育施設整備更新事業であるが、4つの体育館、2つの屋外体育施設に係る修繕工事費と備品購入費である。令和6年度は、市民体育館のボイラーの修繕工事や東野幌体育館の外壁修繕工事などを行った。

次の市民体育館改修整備事業では、市民体育館の管理棟外部等の改修工事を行った。

次の東野幌体育館改修整備事業では、体育室の床改修工事（サンダー掛け）を行った。

次に、特別支援学校フットサル大会開催支援事業では、道内及び海外の特別支援学校が参加するフットサル大会の開催支援を行うもので、JR野幌駅から会場である道立野幌総合運動公園まで選手を輸送するシャトルバスを提供するなどの支援を行った。

最後に、体育施設の指定管理事業であるが、市民体育館など屋内4体育施設は一般財団法人江別市スポーツ振興財団が、あけぼのパークゴルフ場及び森林キャンプ場についてはエコ・グリーン事業協同組合が、それぞれ指定管理者として管理運営を行ったもので、指定管理料は合わせて2億3,808万1千円である。

なお、参考資料の1ページから5ページにかけては、一般財団法人江別市スポーツ振興財団が令和6年度に実施した事業を参考に記載している。

ただいまご説明した指定管理に係る事業や、スポーツ大会等振興補助金に係る事業、自主事業などを行っているもので、詳細のご説明は割愛するが、事業内容は記載のとおりである。

(質疑等)

なし

(6) 報告事項(2) 令和6年度スポーツ施設利用状況について

- ・スポーツ課主査から、資料に基づき報告した。

○事務局(スポーツ課主査)

3ページをご覧願う。

令和6年度の利用者数であるが、屋内施設では、4体育館合計で、43万3,444人と前年と比較して25,173人増加している。増加の主な要因としては、令和6年5月から小中学生の体育施設における使用料の無料化を行ったことに伴い、小中学生の利用者数が増加したことによるものとなっている。

屋外施設は、都市公園内の少年野球場やテニスコートなどの利用者数であり、合わせて3万4,652人で、前年と比較して、3,571人減少している。

森林キャンプ場は、7,007人となり、前年と比較して1,304人増加している。

4ページをお開き願う。

あけぼのパークゴルフ場であるが、利用者数は4万233人で、前年と比較して1,344人増加している。

このほか、特設スケートリンクと学校体育施設開放事業の実績は記載のとおりである。最後に、当市のスポーツ施設利用者の総合計は、68万1,208人となり、前年度から約7%の増となっている。

(質疑等)

○花井会長

屋内施設や森林キャンプ場の利用者数が年々増加している中で、屋外施設の利用者数が減少している理由は何があるか。

○事務局（スポーツ課主査）

屋外施設の利用者数の減少の主な要因としては、飛鳥山公園の野球場やテニスコートの利用者数が減少したことによるものとなっているが、令和5年度から比較すると大会の申請数が減ったことによるものと考えられる。

(7) 報告事項(3) 令和6年度江別市スポーツ推進計画(第7期)推進状況について
・スポーツ課主査から、資料に基づき報告した。

○事務局（スポーツ課主査）

資料の5ページをご覧ください。

第7期江別市スポーツ推進計画は、第7次江別市総合計画の個別計画と位置づけ、計画期間を令和6年度から令和10年度までの5年間とし、誰もが健康で心豊かな生活を送ることができる生涯スポーツ社会の実現を目指すために策定している。

本計画の推進には、各施策の実施状況や達成状況、効果・課題について、PDCAサイクルの考え方に基づいて、点検・評価を行い計画に反映していくこととしているので、令和6年度における「成果指標」の結果と今後の推進の方向性について、ご報告する。報告する内容については、太枠で囲まれた部分である。

「基本目標Ⅰ：生涯スポーツの推進」であるが、令和6年度は、生涯各期におけるスポーツ活動の機会提供と充実として、各種スポーツ教室を開催し、各年齢層別のメニューを提供した。

トップアスリートとの交流については、レバンガ北海道、北海道イエロースターズなどのプロスポーツ団体と連携し、市内の小中学生を対象にスポーツ教室を開催した。

週1回以上スポーツ活動に親しむ市民割合は45.0%と現状値に比べてわずかに上回る結果となった。

今後の方向性について、スポーツ活動に親しむ市民割合の上昇を目指し、今後も、より多くの市民がスポーツ活動に親しむことができるよう、市民ニーズを的確に把握し、関係機関と連携して魅力ある事業の提供に努めていきたい。

資料の6ページをお開き願う。

「基本目標Ⅱ：地域スポーツ活動の推進」であります。令和6年度は、地域スポーツ活動の活性化のためスポーツ協会やスポーツ少年団の活動に対する支援のほか、軽スポーツの指導・普及を行う軽スポーツの出前事業を実施し、気軽にスポーツに親しめる機会を提供した。

各スポーツ団体やスポーツ少年団は少子高齢化の影響がある中、会員数は減少傾向が見られるが、多くの団体が全国・全道大会に出場するなど活発に活動している。

スポーツ機会が充足していると思う市民割合は69.0%となっており、現状値を上回る結果となった。

今後の方向性であるが、各団体の活性化のため、スポーツ協会やスポーツ少年団、総合型地域スポーツクラブ等に対し、指導者育成等の支援や情報提供等の取組を継続して行い、地域スポーツ活動の推進を図っていきたい。

次に「基本目標Ⅲ：スポーツ施設の整備・充実」であるが、令和6年度は、市民体育館の管理棟外部等の改修工事や東野幌体育館床改修工事を行い、スポーツ施設の環境整備に努めた。

市内の屋内体育施設は建築から40年以上経過したものが多くことから、老朽化対策として、安全に配慮した改修整備を進めており、スポーツ施設整備の満足度は66.2%と現状値を上回る結果となった。

今後の方向性であるが、令和7年度も市内体育施設の改修整備を行い、安全で快適に利用できるスポーツ環境づくりを進めるとともに、指定管理者と連携して利用しやすい施設運営と適切な管理を行っていきたい。

(質疑等)

○花井会長

基本目標Ⅰ、Ⅱ、Ⅲについて全て現状値を上回ったことは喜ばしい結果である。小中学生の体育施設の使用料を無料化したことも成果に含まれていると思うが、アンケートの回答者は小中学生も対象になっているのか。

○事務局（スポーツ課主査）

アンケートについては、企画政策部が実施するまちづくり市民アンケートであるが、対象者は18歳以上の市民5,000人となっているため、小中学生は対象となっていない。

○花井会長

それでは、保護者が対象者になっているということで理解した。

(8) 報告事項(4) 令和7年度スポーツ関係事業計画について

・スポーツ課主査から、資料に基づき報告した。

○事務局（スポーツ課主査）

資料の7ページをご覧ください。

まず、今年度において、教育委員会が行う事業であるが、ここでは前年度から内容変更のあった事業等を主に説明させていただきます。

表の上段、体育施設開放事業（学校プール開放事業）は、夏休み期間中、小学校プールを児童・生徒に開放する事業であるが、令和6年度から、より一層の安全性の確保を図るため、市直営から警備業者に委託する方式に変更しており、令和7年度についても引き続き委託方式にて実施する。

表の中段、トップアスリート交流推進事業では市民とトップアスリートが交流できる機会の提供として、先日北海道コンサドーレ札幌と連携してサッカー教室を実施したほか、フェンシングU20及びU17日本代表が大麻体育館で合宿をしたことに伴い、フェンシングの体験会を実施した。

表の下段、大麻体育館改修整備事業では、第2・第3体育室の床改修工事を行う予定である。平成2年の増設による開館以来初の改修となり、特に裸足で行う柔道、剣道などの競技の怪我の予防につながることを期待できる。

また、あけぼのパークゴルフ場管理運営事業及び森林キャンプ場管理運営事業については、今年度が指定管理期間の最終年度となっており、現在指定管理の更新手続きを進めている。

参考資料の6ページから9ページにかけては、江別市スポーツ振興財団が行う事業であり、指定管理事業、受託事業、補助事業について、それぞれ参考に記載している。

(質疑等)

○五十嵐委員

江別市はホッケータウンに認定されているが、ホッケーに関する予算はどこかの事業に含まれているのか。

○事務局（スポーツ課主査）

ホッケーに関しては令和7年度は予算化をしていないが、今年度の取組として、直近で江別青年会議所が主催するイベントにおいて、江別高校と協力してホッケーの体験ブースを実施する予定である。また、10月には野幌総合運動公園において、日本ホッケー協会が主催する日本代表選手が講師を務める「夢見るホッケー教室」を実施する予定であり、小中学生へのイベント周知などに取り組む予定である。

○花井会長

江別高校の金山委員から何かコメントはありますでしょうか。

○金山委員

ホッケーは高校に入ってから始める人がほとんどであると認識しているので、低年齢層からホッケーに触れる機会があると、競技人口の増加につながるのではないかと思う。

○千葉委員

中学校の立場からお礼と感想を述べさせていただく。中学校体育連盟の会長として委員に選出されているが、中体連の開催に当たっては、市の各施設を使用させていただきお礼を申し上げる。また、全道大会や全国大会開催の際には市教委から支援をしていただくことで、子どもたちに夢や目標を与えることができていると思う。

児童生徒に対する体育施設の無料化に伴って、利用者数が増えているということは大変良いことだと思う。児童生徒の体力低下の要因は、子どもたちにとって魅力的に手軽に行えるものがあまりにも普及していることであるため、体育施設が気軽に使えたり、スポーツに気軽に触れることができる場を設定していただいているので、今後ともぜひよろしくお願ひしたい。

○花井会長

スポーツを楽しむには環境や一緒にスポーツをする仲間も大事なので、今後も子どもたちがスポーツに参加できる環境を皆さんと一緒に作っていければ良いと思うので、改めてよろしくお願ひします。

(9) その他

○事務局（教育部長）

先ほど報告事項(3)の江別市スポーツ推進計画の推進状況を報告した中で、花井会長から小中学生の体育施設の使用料無料化についてお話をいただきました。保護者が子どもたちが体育館に行きだしたことを実感することで、成果指標の「スポーツ機会が充足していると思う市民割合」の数値も上がることにつながると思いますので、基本目標Ⅱの取

組内容に追加で「小中学生の体育施設使用料の無料化を実施したことで利用者が増えた。」旨の内容を追加したいと思うが良いか。文言については事務局に一任いただきたいと思う。どうぞよろしくお願いいたします。

(各委員了承)

○事務局（スポーツ課主査）

今年度の江別市スポーツ推進審議会について、全部で2回の開催を予定しており、次回、第2回目の審議会は2月頃を予定している。時期が来たら、改めてご案内させていただく。

(10) 閉会

○花井会長

以上で、令和7年度第1回スポーツ推進審議会を閉会する。

(11時10分終了)